

ICTを活用した協働学習モデル事業について

1 目的

児童生徒が、授業の中で、グループや学級全体での学び合いを行う「協働学習」の場面等において、大型タブレットパソコン等のICT機器を用いることによる効果や、適切な利活用の在り方等について、2か年にわたり研究・検証を行うもの

2 事業の概要

- (1) 事業期間 平成26年度～27年度
- (2) 事業費 賃借料 総額5,363千円（リース期間：5年）
- (3) 実施スケジュール
 - 平成26年 4月～ 協働学習推進プロジェクトチームによる検討
 - ・ 「ICTを活用した協働学習モデルプラン」の作成
 - ・ タブレットの操作や協働学習用ソフトの活用に関する教職員研修の実施
 - 平成26年11月～ モデル校における実地検証
 - ・ 平成26年11月～ 姿川第一小学校
 - ・ 平成27年 4月～ 田原中学校
 - ・ " 9月～ 平石中央小学校

3 検証内容

協働学習の場面において、大型タブレットパソコンを活用することにより、子ども同士の意見交換、発表など、互いに学び合う活動がこれまでに増して活発に行われるか、また、思考力、判断力、表現力などの育成につながっていくかについて検証する。

大型タブレットパソコンの活用検証を行う学習場面の例

発表や話し合い	学習課題に対する考えを、グループや学級全体に分かりやすく提示して、発表や話し合いを行う。
協働での意見整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で複数の意見・考えを共有して話し合い、新たな考えを生み出すなど、思考を深めながら意見を整理する。 ・ 学級全体で、互いのグループの考えを共有することにより、全体での議論を深めながら学び合う。
協働制作	グループで分担し、写真・動画等を用いながら資料や作品を協働で制作する。

4 特徴

- (1) グループによる協働学習に重点を置いた取り組み
 - ⇒ ICTの活用により子ども同士の活発な意見交換や分かりやすい発表を実現
- (2) グループでの利用に適した大型のタブレットパソコン(21.5 インチ)を授業に活用
 - ⇒ 4人程度のグループでも全員が見やすく操作しやすい大きさのタブレットを採用
- (3) デジタルテレビ、プロジェクタへの投影やプリンタ出力も含めて全て無線化
 - ⇒ 授業において自由な配置や移動しての利用が可能, また設置や片付けが容易

5 モデル事業におけるICT環境

(1) 構成機器

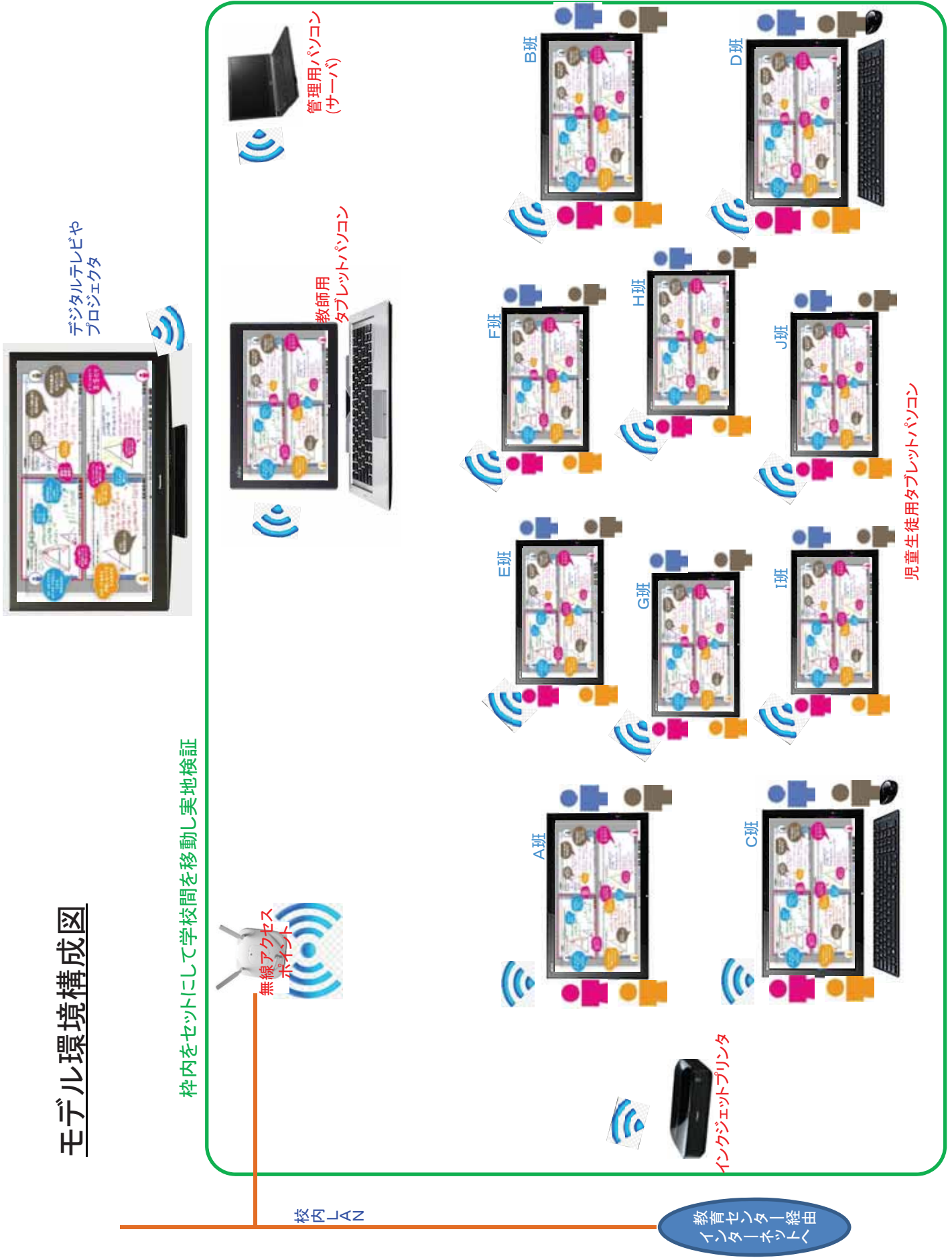
児童生徒用 大型タブレットパソコン	教師用 タブレットパソコン	管理用 ノートパソコン
		
21.5 インチ 10 台	13.3 インチ 1 台	協働学習用 ソフトサーバ 1 台
無線LAN アクセスポイント	インクジェットプリンタ	Webカメラ
		
ファイアーウォール 内蔵 2 台	A3, 無線LAN対応 1 台	800万画素 10 台

(2) 協働学習用ソフトウェア

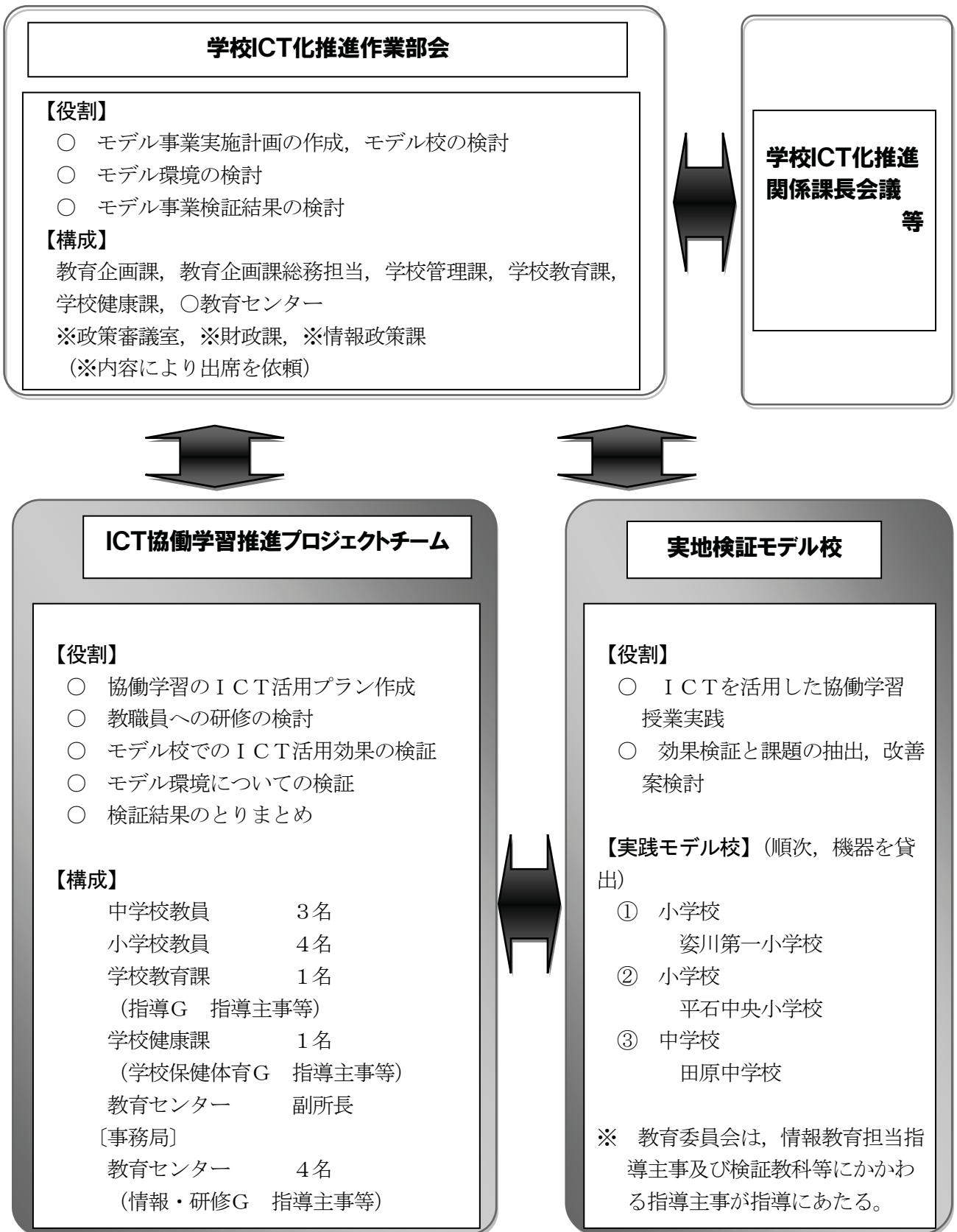
- ア 「コラボノート」(株)JR四国コミュニケーションウェア)
 - 校内パソコン室や他の学校からの同時書き込みも可能
- イ 「ジャストスマイルクラス」(株)ジャストシステム)
 - 複数の子どもたちが同時に操作できる機能を搭載

モデル環境構成図

校内をセットにして学校間を移動し実地検証



6 推進体制



7 モデル校について

(1) 役割

- ア ICTを活用した協働学習授業実践
- イ 効果検証と課題の抽出, 改善案検討

(2) モデル校と時期

学校名	時期	備考
姿川第一小学校	平成26年11月～ 27年3月	平成27年 2月10日 市議会 文教消防水道常任委員会視察 平成27年 2月24日 授業研究 モデル事業研修会
田原中学校	平成27年 4月～ 7月	平成27年 6月18日 市中学校教育研究会 情報教育部会研修会 →全中学校の先生方に授業公開
平石中央小学校	平成27年 9月～ 12月	平成27年11月17日 市小学校教育研究会 情報メディア教育部会研修会 →全小学校の先生方に授業公開